

わたにやすお
 <No.21> 和谷泰扶 ハーモニカ・トリオ ～チェロとピアノに囲まれて～

「ハーモニカ」と聞いて何をイメージしますか？子どもの頃に吹いた思い出、懐かしいあの音色…。ハーモニカ誕生から180年の時代を経て今、新たな可能性に挑戦！クロマティック・ハーモニカ、チェロ、ピアノによって奏でられるアンサンブルは、ノスタルジーの世界のみならず、目を見張る超絶技巧の迫力あるステージ。オーケストラとの共演をはじめ、ヨーロッパやアジア各地で演奏活動を展開している、注目のクロマティック・ハーモニカ奏者の和谷泰扶が豪華共演者とともに繰り広げる新たな世界。クラシックの名曲とともに日本の抒情歌、タンゴ等、楽しいお話や解説も交えて贈る魅力的なコンサートです。

公演名	和谷泰扶ハーモニカ・トリオ ～チェロとピアノに囲まれて～
内容	<p>【曲目例】</p> <p>W.A.モーツァルト／トリオ 変ホ長調 KV.407 より ハチャトゥリアン／剣の舞</p> <p>サン＝サーンス／組曲「動物の謝肉祭」より“白鳥” ブラームス／ハンガリアン舞曲 第5番</p> <p>ショパン／小犬のワルツ モンティ／チャルダッシュ</p> <p>山田耕筰：和谷泰扶・矢代秋雄 編曲／赤とんぼ 山田耕筰／曼珠沙華幻想</p> <p>わらべうた／通りゃんせ ムーディ／スペイン幻想『トレド』</p> <p>ピアソラ／リベルタンゴ ガーシュウィン／ラブソディ・イン・ブルー</p>
出演	<p>クロマティック・ハーモニカ：和谷 泰扶</p> <p>チェロ：菊地 知也（日本フィルハーモニー交響楽団ソロ・チェリスト）</p> <p>ピアノ：荒尾 岳児（東京音楽大学准教授）</p>
プロフィール	<p>■ 和谷 泰扶</p> <p>6歳よりハーモニカを始める。FIH ジャパン・ハーモニカ・コンテスト（クロマチック部門）で第1位を受賞。「日本ハーモニカ賞」受賞。同志社大学商学部卒業後、ホーナー・コンセルヴァトリウム（トロツィンゲン市立音楽院）の招待留学生として渡独、H.ヘロルド氏に師事。英国の名手 T.ライリー、H.ノートの各氏に師事。1987年第1回ワールド・ハーモニカ・チャンピオンシップス（ドイツ）で第2位に入賞。ラリー・アドラー氏に絶賛される。1988年国際ハーモニカ・コンクール（オランダ）第1位及び特別賞。1989年第2回ワールド・ハーモニカ・チャンピオンシップス第1位。京都市響、東京フィル、大阪フィル、新日本フィル、仙台フィル、新星日響、群馬交響楽団、九州交響楽団、広島交響楽団、ロイトリンゲン市響等と共演。1998年国際交流基金の派遣でアルゼンチン、ブラジル公演に参加。サイトウ・キネン・フェスティバル松本（1996年）、「東京の夏」音楽祭（1999年）、東京・春・音楽祭（2011年）に出演。従来のハーモニカの概念を塗り替える超絶技巧と音楽性は世界的な注目を集めている。1991年～2002年ホーナー・コンセルヴァトリウム主任講師。現在はソロ、室内楽奏者として活発な演奏活動を展開している。近年は、香港、シンガポール、台湾などに度々招かれ、マスタークラスやコンサートを開催する。1996年「村松賞」、1998年「京都府文化賞奨励賞」、「第6回バロックザール賞」受賞。2005年より洗足学園大学講師。</p> <p>オフィシャルサイト http://www.yasuowatani.com/</p>
交流企画	ロビーコンサート共演：中高音楽部（合唱・吹奏楽）またはハーモニカサークル等

